

九州女子大学
人間科学部 人間発達学科 人間発達学専攻

| | | |
|--------|----------|----|
| 平成31年度 | 社会人入学試験 | I期 |
| | 編入学試験 | I期 |
| | 社会人編入学試験 | I期 |

小論文

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間発達学専攻

平成 31 年度 社会人入学試験 I 期 小論文 試験問題
社会人入学試験 I 期

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

社会の情報化が急速に進展する中で、子供たちが情報や情報手段を主体的に選択し活用していくための基礎的な資質としての情報活用能力を身に付け、情報社会に主体的に対応していく力を備えることがますます重要となっています。

また、子供たちの「確かな学力」を育成するためには、分かりやすい授業を実現することが必要であり、その指導方法の一つとして、教員が ICT を効果的に活用した授業を展開することが重要となっています。

さらに、校務事務の多忙化により、教員が子供たちと向き合う時間が不足していることが指摘されている中で、ICT を活用した校務の効率化に対する期待も高まっています。

一方、近年、コミュニティサイト等に起因する事犯や、いわゆるリベンジポルノなどのインターネットによる犯罪被害、生活リズムの乱れなどが大きな問題となっています。このため情報社会の便利な側面のみならず、影の部分やその対処法などについて、子供たち自身や保護者などが正しく認識し、適切に行動していくことがますます重要となっています。

このような状況を踏まえ、文部科学省は、情報活用能力の育成、教員の ICT 活用指導力向上に向けた取組、ICT の活用による障害のある子供たちの支援、学習者用コンピュータ等の学校 ICT 環境整備の推進、青少年を有害情報から守る取組の推進等に取り組んでいます。

出典：「教育の情報化」『文部科学白書（平成 29 年度）』

問

将来、保育者や教員を目指す立場から、これからの保育・教育に求められる ICT の活用の在り方についてあなたの考えを 800 字以内で述べなさい。